

GREETING 挨拶

私の身のまわりで起きたこと、最近私が考えている事。

一年間のお礼と新年のご挨拶

いつも、ありがとうございます。

2018年も残り約1週間となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

さて、2015年に父と再会してから年に一度、毎年家族4人で鹿児島へ出掛けています。今年も9月の3連休を利用して行ってきました。

父から、今年は墓参りに行こうと提案されていました。

坪山家と西郷家のお墓です。

もう高齢になり運転免許証を返上した父にとって、遠方にある両家のお墓はなかなか行く機会がありません。

私自身、一度も行ったことが無かったので、是非ということと車でフェリーで片道約1時間半の道のりを行ってきました。

父は現在、鹿児島市の中心にあるマンションで暮らしていますが、元々は根占ねづみというおおすみ半島の南部にある田舎きまつきくんひがししくらちのうかしわぼろで生まれ、肝属郡東串良町柏原という田舎町で育ちました。



そんな父を産んだ祖母の名は、西郷和江と言います。結核むすねを患っていたらしく、父を産んでもまもなく24歳という若さで亡くなっています。ですので、父には祖母の記憶はありません。

今年は大河ドラマが「西郷どん」ということで鹿児島も盛り上がりつつありますが、西郷さんの別宅が現在でも根占に残っています。そして西郷さんは根占で趣味だった狩を楽しんでいたと文献にも記述があります。



祖母のお墓はその根占の山奥にありました。山の中に小さい集落があるのですが(半分ぐらいが西郷姓です)、その集落のさらに奥まったところにひっそりと建っていました。人の気配を全く感じない少し神秘的な場所でした。もう70年も前に亡くなった祖母。しかも24歳という若さです。



顔も人柄も知らない祖母ですが、間違いなく祖母の人生が無ければ今の私は存在しません。墓前で手を合わせながら、人生の不思議を感じました。

墓参りの時に驚いたのは、お墓が綺麗に管理されていたことです。

人里離れた山奥であるにも関わらず、墓には立派な花が手向けられお墓に向かう山道にはほうきで掃いた跡がありました。

短い生涯を終えた祖母に父と私。

恐らく三者三様で波乱万丈の人生を送っているのかなと思いますが、確実に命はつながっています。

自分自身と西郷家とのつながりも強く感じた墓参りでした。

ちなみに、西郷どんは身長180cm、体重110キロ、お肉と甘いものが大好きでお酒は飲めなかったとのことです。

(私は体重102キロですので西郷どんよりは少しスリムです)もしかして西郷どんの生まれ変わり??

信じるか信じないかはあなた次第です!!(笑)

今年も、一年間本当にありがとうございました。

2019年が皆さまにとって素晴らしい一年になりますことを祈念しております。

よいお年をお迎えください。

感謝!!

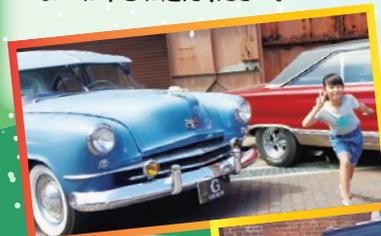


Photo by くるみ



Photo by さくら